

平成 19 年 4 月 27 日

各 位

会社名 株式会社テクノマセマティカル
代表者名 代表取締役社長 田中 正文
(コード番号 3787 東証マザーズ)
問合せ先 取締役副社長 出口 眞規子
(TEL. 03 - 5798 - 3636)

平成 19 年 3 月期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 2 月 9 日に公表いたしました平成 19 年 3 月期(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1、平成 19 年 3 月期通期業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	1,010	367	236
今回修正予想(B)	707	76	49
増減高(B - A)	303	291	187
増減率(%)	30.0%	79.3%	79.2%
(ご参考) 前期実績(平成 18 年 3 月期 通期)	631	207	134

2、修正の理由

当社における平成 19 年 3 月期の業績につきましては、売上高は対前年比で増加となるものの、前回発表の予想値に対しては、大きく下回る見込みとなりました。これに伴い、経常利益、当期純利益についても予測を大きく下回り、対前年比で減少する見込みとなりました。

具体的には、第 3 四半期より量産を開始した単機能 LSI 事業が生産および販売体制の整備の遅れにより予想通りの売上が上げられなかったこと、期初に予測していたロイヤルティ売上の発生が大きくずれ込んだこと、および期末に予定していた大型案件の受注が次期にずれ込んだことにより、前回の予測に対して減収となる見込みです。

その結果、平成 19 年 2 月 9 日発表の平成 19 年 3 月期通期業績予想との差異は、売上高 303 百万円となります。

一方、単機能 LSI の売上高の減少に伴い、それに付随する原価は期初の予測値を下回りました。以上の結果、平成 19 年 3 月期通期の業績予想を売上高 707 百万円、経常利益 76 百万円、当期純利益 49 百万円にそれぞれ修正いたします。

単機能 LSI 事業は当社の新たな事業の柱とすべく開始した事業であるため、商品の宣伝活動、販売活動に注力いたしましたが、業界での認知度を上げるまでの効果を得ることができませんでした。併せて、販売促進ツールとしてのパンフレット、カタログ、および実際の性能を確認していただくためのデモンストレーションボード等の準備を計画通りに進めることができませんでした。これらにより、平成 19 年 3 月期の売上への寄与が予想よりも大幅に低くなりました。

また、ロイヤルティ売上の発生がずれこんだ理由としては、実際の出荷数量が契約時の予測に達しなかったこと、顧客の商品量産時期がずれ込んだことが挙げられます。

今後は以上の遅延した課題を解決することで、ビジネス成立の早期化を促進し、業績予想精度の向上に努める所存です。

3、事業別売上高

	平成 19 年 3 月期（予想）	平成 18 年 3 月期（実績）	増減率
ソフトウェアライセンス事業	235 百万円	243 百万円	3.3%
ハードウェアライセンス事業	471 百万円	387 百万円	21.7%
合計	707 百万円	631 百万円	12.0%

（注）単機能 LSI 事業の売上はハードウェアライセンス事業に含まれております。

（注）上記の見通しは、本資料作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後様々な要因によって記載内容と異なる可能性がありますので、当公表の内容に全面的に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えていただきますようお願い申し上げます。

以 上